様式第１号

記入例

農地法第３条の規定による許可申請書

令和 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

宮古島市農業委員会会長　殿
（沖縄県知事）

実印

太郎 ㊞

㊞ 次郎

様式第１号は必ず両面印刷です

譲渡人　宮古島　太郎

譲受人　宮古島　次郎

下記農地（採草放牧地）について
- 所有権
- 賃借権（無償での貸借）
- 使用貸借による権利
- その他使用収益（　　）

を
- 移転
- 設定（期間 10 年）

したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。（該当する内容に○を付してください。）

1　申請者の氏名等

申請者	氏名	年齢	職業	住所
譲渡人	宮古島　太郎	60	農　業	宮古島市城辺字福里○○番地
譲受人	宮古島　次郎	45	農　業	宮古島市平良字下里○○○番地○

2　許可を受けようとする土地の所在等

訂正不可

土地の所			訂正不可	地目		面積（㎡）	対価、賃料等の額（円）【10a当たりの額】	所有者の氏名又は名称（現所有者が登記簿と異なる場合）	所有権以外の使用収益権が設定されている場合	
市町村名	大字	小字	番地	登記簿	現況				権利の種類・内容	権利者の氏名又は名称
宮古島市	城辺字福里	○○原	300	畑	畑	800	12,000【15,000円/10a】	【　　】		
宮古島市	城辺字福里	○○原	300-1	畑	畑	200	3,000【12,000円/10a】	【　　】		
別紙のとおり										

筆数が多い場合は『別紙のとおり』と記入して様式第１号－①に記入後、ホッチキスのうえ譲渡人・譲受人の両方の印鑑を割印して提出して下さい。

売買の場合は契約金額を、贈与の場合は贈与と記入

3　権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

① 時期（　許可後　）　② 対価（　金 2,000,000円　）

③ 賃貸料等の給付の種類及び額（　年間 15,000円　）　④ 契約の期間（　10年間　）

賃貸の場合は③に賃貸料を記入し、④に契約期間を記入して下さい。
使用貸借の際は③は空欄のまま、④に契約期間のみを記入して下さい

宮農委指令第　　号

上記申請のとおり許可します

令和　　年　　月　　日

宮古島市農業委員会
会長

申請人訂正欄 ＊漢数字を使用する	担当者確認欄 ＊申請人は記入しない	許可権者訂正欄 ＊申請人は記入しない
字挿入　字抹消	字挿入　字抹消	字挿入　字抹消
上部と同じ印鑑を押印　太郎　申請人印　次郎		年　月　日　訂正・再交付

【教示】　裏面を呼んでください。

様式第１号－①（別紙）

申請書　２の欄の許可を受けようとする土地の所在等

土　地　の　所　在				地　　目		面積（㎡）	対価、賃料等の額（円）【10a当たりの額】	所有者の氏名又は名称（現所有者が登記簿と異なる場合）	所有権以外の使用収益権が設定されている場合	
市町村名	大字	小字	番地	登記簿	現況				権利の種類・内容	権利者の氏名又は名称
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		
							【　　円/10a】	【　　】		

筆数が多い場合はこの様式に記入し、様式第１号－①とホッチキスのうえ譲渡し人・譲受人の両方の印鑑を割印して下さい。

様式第１号－②

記 入 例

農地法第３条の規定による許可申請書（別添）

Ⅰ　一般申請記載事項

１－１

＜農地法第３条第２項第１号関係＞
権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

＜農地法第３条第２項第５号関係＞
権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積（農地・採草放牧地）の状況

※特例（集約的に行われる事業等）の該当有無　有　無（無に○）　※「有」の場合は、様式第１号－③添付

［経営地］　（単位：㎡）

	今回権利を取得する土地 ①	所有地		所有地以外の土地		経営面積合計 ①＋②＋③
		自作地②	貸付地	借入地③	貸付地	
田						
畑	1000㎡	3900㎡		1200㎡		6100㎡
樹園地						
計	1000㎡	3900㎡		1200㎡		6100㎡
採草放牧地						

面積は営農計画書と一致

［非耕作地］

		所在・地番	地目 登記	地目 現況	面積（㎡）	状況・理由
非耕作地	所有地	なし				
	所有地以外の土地	なし				

（記載要領）

1　「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第３条第２項第６号の括弧書きに該当する土地です。

2　「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともにその状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人○○が○年間耕作を放棄している」、「～のため○年間休耕中である」等自らの耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記　載してください。

１－２　＜農地法第３条第２項第１号関係＞
権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況

（１）作付（予定）作物、作物別の作付面積・・・営農計画書の添付

（２）大農機具又は家畜

		大農機具				
		耕うん機	トラクター	農薬散布機	草刈機	その他（　）
確保	所有	1 台	台	台	台	
	リース	台	台	台	台	
導入予定	所有	台	1 台	1 台	台	
	リース	台	台	台	台	
	資金繰り	該当するものに○を付すこと　自己資金・金融機関からの借り入れ・その他（　）				

家畜				
乳牛	肉用牛	豚	鶏	その他（　）
頭	頭	頭	頭	

（記載要領）

1　「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。

2　導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ（融資を受けられることが確実なものに限る。）等資金繰りについても記載してください。

記 入 例

２　＜農地法第３条第２項第２号関係＞(権利を取得しようとする者が農業生産法人である場合のみ記載)
その法人の構成員等の状況（別紙に記載し、添付してください。）

３　＜農地法第３条第２項第３号関係＞
信託契約の内容（ 信託の引受けにより権利が取得される場合のみ記載）

４　＜農地法第３条第２項第１号及び第４号関係＞（ 権利を取得しようとする者が個人である場合のみ記載）
権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況
（「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の２親等内の親族をいいます。）

（１）農作業に従事する者

	氏　名	年齢	権利取得者との続柄	職　業	農 作 業従事日数	農作業経験の状況	通作距離・時間
権利取得者	宮古島 次郎	45	本人	農　業	120	10年	5 km ・ 15 分
世帯員等その他常時雇用（構成員）	宮古島 花子	44	妻	農　業	60	10年	5 km ・ 15 分
	宮古島　守	21	子	会社員	60	1年	5 km ・ 15 分
							km ・ 分
							km ・ 分
							km ・ 分
	現在：　3　名 ・ 増員予定：　　名（農作業経験の状況：　　）						
臨時雇用	年間延日数　　日 年間延人員　現　在：　　名（農作業経験の状況：　　） 増員予定：　　名（農作業経験の状況：　　）						

（２）その者の農作業への従事状況（ 該当する期間(実績又は見込み)を「←→」で示してください。）
（「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業(耕うん、播種、施肥、刈取り等)にいつでも従事できる状態にあることをいいます。）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
その行う耕作または養畜の事業に必要な農作業の期間	←											→
その者が農作業に常時従事する期間	←											→

（記載要領）
１　農作業経験等の状況の記入例　　農作業暦○○年、農業技術修学暦○○年
２　通作距離及び距離は、住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間を記載して下さい。

５　＜農地法第３条第２項第７号関係＞
周辺地域との関係
　権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響を以下に記載してください。
（例えば、集落営農や経営体への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください。）

営農計画はさとうきびで、周辺農地ではマンゴーのハウス栽培や花卉の営農が行われている状況である。 申請地が一団の農地の端地にあること等から、周辺農地の総合的な利用の確保に支障は生じないと考える。 万が一支障が生じた場合は地域の農家、農業委員会及び関係機関等の意見を参考に責任を持って対処します。

６　その他参考となるべき事項

営　農　計　画　書

住　所　　宮古島市平良字下里〇〇〇番地〇
氏　名　　宮古島　次郎　　宮古島印

農地法第３条許可申請地（ 1000㎡　　）を取得した後は、すべての農地（採草放牧地）について下記のとおり農業経営を行います。

１．構成員（世帯員数）　　3　人
　　うち、必要な農作業に従事する者　　3　人

２．経営計画

土地の所在				地目		面積	作物	生産状況				農作業従事状況【年間】			
市町村	大字	小字	地番	登記簿	現況			10アール当たり収量	総生産量	単価	総生産額	10アール当たり必要日数	必要総日数	従事可能日数	農作業の種類
現在経営地															
宮古島市	城辺字新城	西皆粉地	〇〇	畑	畑	1,000	さとうきび	8t	8t	20,410	163,280	25	25	150	肥培管理
〃	〃	〃	〇〇	〃	〃	800	〃	8t	6t	〃	130,624	25	20	〃	〃
〃	〃	〃	〇〇	〃	〃	1,500	〃	8t	12t	〃	244,920	25	38	〃	〃
〃	城辺字福里	南嶺原	〇〇	〃	〃	600	〃	8t	5t	〃	97,968	25	15	〃	〃
〃	〃	北川久道	〇〇	〃	〃	1,200	〃	8t	10t	〃	195,936	25	30	〃	〃
小計													128		
今回申請地															
宮古島市	城辺字福里	〇〇原	300	畑	畑	800	さとうきび	8t	6t	20,410	130,624	25	20	300	肥培管理
宮古島市	城辺字福里	〇〇原	300-1	〃	〃	200	〃	8t	2t	20,410	32,656	25	5	300	肥培管理
小計						1,000							25		
合計						6,100							153		

上段に現在経営地を記入（農家台帳登録地全てを記入すること）
※全て経営していることが条件となります。

下段は今回申請地を記入（同時申請があればそれも含む）

計算の仕方
☆総生産量＝面積÷1,000×10a当たりの収量
☆総生産額＝総生産量×単価
☆必要総日数＝面積÷1,000×10a当たり必要日

下限面積：5,000㎡以上　（約1,513坪）